

# 相馬の子どもたちを支援

## 小田原JＣが義援金を届ける

社団法人小田原青年会議所（小田原JＣ）と古川大司理理事長は、小田原市と



目録を手渡す古川理事長（中央右）

「災害時等における相互応援協定」を結んでいる福島・相馬市に義援金を寄贈した。子どもたちへの教育支援として、学習教材の購入などにあてられる。

先月25日に相馬市役所で贈呈式が行われ、古川理事長が立谷秀清相馬市長に目録を手渡した。立谷市長は「今回の支援は明るい未来への復興、子どもたちの将来にとつてかけがえないもの。小田原市民の皆様へ深

く感謝したい」と話した。

小田原JＣは東日本大震災の発生直後から募金活動を行い、約1年間で370万円の義援金が集まった。相馬市の支援で残った義援金は日本赤十字社に寄付される。古川理事長は「今後も復興支援活動を続けていきたい」と話している。